

岱志で育ち、輝く未来へ!



ゆうなぎ
り
ん
ど
定時制だより
岱志高校

演題「人生の分岐点」

10月11日(日)熊本県立劇場にて、「令和2年度熊本県高等学校定時制通信制生活体験発表大会」が行われました。

例年、県内の定時制通信制の全生徒・職員が集まりますが、今年は新型コロナウイルス対策として、発表者の保護者や引率教師等のみの参加となり、ステージ上では各校代表9名が発表しました。

本校代表として、4年の大森梨央さんが「人生の分岐点」と題して、過去の体験や葛藤など勇気を出して発表しました。広く大きいステージ上からの発表は初めての体験で、発表直前はとても緊張していたそうです。しかし、演台に立つと気持ちを込めながら、堂々と話すことができ、大森さんは優秀賞を受賞しました。

生活体験発表大会



校長先生

担任

優秀賞

発表の様子



2020年度
第3号
編集・発行
岱志高校定時制



全集中で筆を走らせる生徒たち



11月5日

荒定祭前夜祭バドミントン大会

11月初旬、本校定時制の文化祭「荒定祭」(第9回)を開催しました。コロナ禍で年度始めの生徒会主催の行事が中止ということもあり、今年度は生徒会からの提案で、新たに「荒定祭前夜祭バドミントン大会」を企画し、11月5日(木)に開催。

荒定祭当日の6日(金)は、4年大森さんの「生活体験発表」や、「観月会」で詠んだ俳句・短歌の表彰並びに書道で制作した作品を展示。その他、「ビンゴ大会」や「調理実習試食会」として生徒・職員で作ったカレーライスをみんなで食べるなど、学年の枠を越えて、定時制の全生徒・全職員が交流を深め、文化的で楽しいひと時を過ごしました。

【全日制書道部と合同授業】

全日制書道部から、定時制の生徒に「書に触れて、書を楽しむ」機会の呼びかけがあり、10月20日(火)~27日(火)の期間、各クラス2時間分を使って、書道の合同授業がありました。

今年9月の「観月会」で各自が詠んだ短歌・俳句を用いた芸術的な「書」の制作に取り組みました。

これらの作品は、令和2年度・第56回熊本県高等学校書道展で奨励賞を受賞。12月15日~20日まで、熊本県立美術館(分館)にて展示され、たくさんの人たちに鑑賞してもらいました。

今年も参加された黒崎同窓会会長 観月会表彰式



11月6日



第9回 荒定祭